

最先端の育毛技術を追究

競争が激しい発毛・育毛剤業界で成長を続けている注目のベンチャー。今年1月のテレビショッピング(QVC)で紹介した育毛剤は5時間で3万6000本が売れた。遺伝子レベルの毛髪研究を生かした育毛剤やシャンプーが、薄毛に悩む女性らの心をつかんでいる。

ちばのく

底力

アドバンジェン

髪の毛は通常5〜7年かけて成長するが、途中で抜けると髪が薄くなる。近年の研究で、脱毛



小池浩一郎社長

は特定のたんぱく質(FGF5)が働いて引き起こされることが分かった。その研究の一翼を担った産業技術総合研究所(茨城県つくば市)が認定するベンチャーとして

2002年に設立され、商品開発をスタートした。FGF5の働きを抑える植物エキスを採った

め、5年間かけて3000種をスクリーニング。ピワなど4種を特定し、第1号の育毛剤の商品化にこぎつけた。

た。現在は海外に販路を拡大中で、今後は欧米進出を目指すという。また、来月には東京・銀座に初の直営店をオープンし、商品の販売のみならず、さまざま髪への悩みの相談にも応じていく予定だ。小池浩一郎社長(59)は「今後も東大や東京理科大と共同研究を重ね、先端の育毛技術を追究したい」と話している。



主力商品の育毛剤で、女性用の「シヨシユレッド」(左)と男性用の「レキシリスブラック」(右)アドバンジェン本社で

【橋本利昭】

アドバンジェン 本社
・ 柏市柏4の6の3 新
栄ビル5階▽2002年
設立▽従業員9人